

石造五輪塔

セキゾウゴリントウ



指定日：昭和57年(1982)2月2日 種別：建造物

浄橋寺の本堂の前方にあり、土塀に接して築かれた乱石積みの基壇上に西面して建つ。花崗岩製で、総高140.6cmを測る。地輪の正面に浅く舟形龕を彫り、中には地藏尊の坐像が薄肉彫りされ、その下端に蓮華座を線刻している。各輪の釣合はやや均衡を欠くが、保存は完好である。銘記を欠くが、神戸市の石峯寺五輪塔（暦応4年〔1341〕造立）や、明石市の西福寺五輪塔（貞和2年〔1346〕造立）などと、形式手法などにおいて通じるものがあり、14世紀中葉の造立にかかるものとみられる。